

葦 森 の 風

小中一体校舎に向けて24年度以降の取組について

本年度は、5月21日の金環日食をはじめとして、先日の金星の日面通過現象など、珍しい天体現象が見られ、暗いニュースが多い日々の暮らしに、ホッとする話題が、飛び込んできていました。

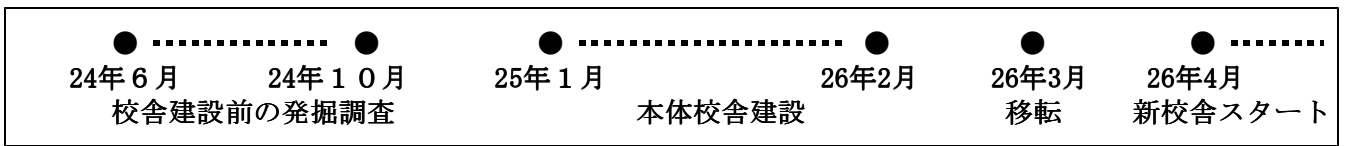
さて、各学年の旅行行事、体育会、生徒総会等が終わり、今は部活動の公式大会が行われている時期です。各学年とも、それぞれの生活が徐々に軌道に乗りつつあると思いますが、新たに課題も見えてきています。

さて、足守地区の新しい学校づくりの計画についてご紹介いたします。



(5/27第50回体育会)

校舎建設計画



連携教育の学習内容作成計画

24年 4月 5~8月	保幼小中全体合同研修会 公開授業に向けてのプレ公開授業 9年間の学習系統表作成協議	25年 3月 協議会回数	全市配布用研究のまとめ完成 24年度に、市教委を交え10回の予定
9月	学びの系統表完成	4月	保幼小中全体合同研修会
10~11月	公開授業実践(いきいき学校園)	5月	最終公開授業準備
12月	研究のまとめ作成	6月	岡山市全市対象公開授業実施
25年 2月	6月最終公開授業構想協議	7月8月	研究成果のまとめ
		26年 4月	一体校舎での一環カリキュラム開始

足守中学校第1回運営協議会 6月6日19:00~

平成24年度足守中学校の「教育基本計画」「教育課程編成」「校務分掌」「教職員組織」「学校経営計画」および『協同学習』の推進等の教育課程全般について、協議が持たれ、承認されました。

また、本年度は、26年度開始の一体校舎での小中連携教育に係る「足守地区の新しい学校づくり保育授業づくり部会」の推進計画や校舎建設の計画についても協議していただき、承認されました。また、昨年度は中学校全職員と面談をしていただき意見交換も行われましたが、今年度は、保護者の方達と委員さんの交流会を計画してみたいと考えています。

協議会委員の方々には、大変重い『守秘義務』が課せられておりますので、心身共に厳しい状況の中で、協議をお願いすることになります。よろしくお願いいたします。

足守中学校運営協議会 後藤晴美会長の提言

「足守中学校運営協議会の委員として」

後藤 晴美

本年も運営協議会の委員として、また、その会の会長という重責を担うこととなりました。基本的には、学校の主体性を尊重しながら、客観的な立場から私たちの意見を出していきたいと思っております。微力ではありますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

さて、今この地域の教育は、小中一体型の教育に向けて大きく変わろうとしています。

課題、戸惑い、不安等多々あると思っております。しかし、皆で知恵を出し合い協力し合い、この難関を乗り越えていくよう、前向きに取り組んでいきたいと決意しております。

話は変わりますが、先日弟が入院している病院に行った時のこと、エレベーターに乗ろうと待っていたら、ドアが開き4、5歳ぐらいの男の子が父親と一緒に降りて来ました。私が乗ろうとしたところ、その子がエレベーターの開のボタンを押してしてくれました。思わずうれしくなって「ありがとうね」とお礼を言いました。

ささいなことですが、このような小さな、何気ない心遣いが人の心をなごませ、人と人の心をつなぐ糸になるのではないのでしょうか。おそらくこの子は、普段大人のとりわけ両親のそういったさりげない行いを見ていて、自然に身についた行動だったのでしょうか。大人のモデリングが大切だということです。

毎日の生活の中で、小さな良いこと探しをして、心に栄養をつけたいものです。

